

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	農産物直売所「楽珍館」増築事業	
事業主体 (連絡先)	楽珍会 (喬木村) 会長 木下勇人	電話 0265-33-2827(前沢昌弘)
事業区分	特色ある観光づくり	
事業タイプ	ハード	
総事業費	4,500,000 円	(うち支援金: 2,950,000円)

事業内容

地域の遊休農地対策や活性化策として始めた農産物直売所での販売増を目指し、販売する農産品を使用した地元料理を提供するため直売所を増築し、調理場や簡単な食事スペースを作りました。

完成を祝って行った「松茸まつり」では、松茸ご飯の販売のほか、地元里山で収穫した各種キノコを使ったキノコ汁を提供し、大変多くの皆さんと交流を深めることが出来ました。



【直売所の増築完成を祝う松茸まつり】

自己評価(事業実施率) 【 A 】

事業効果

食堂が完成した10月の実績は、去年同期と比べ200%近い売上となり、天候に恵まれ松茸販売が好調だったこともあるが、食堂開設による集客効果が大きく影響していると考えられます。

また、直売所を利用してくれる皆さんも、食材の調理方法などを含め話題が増えたため、交流時間も確実に増えるなど、予想以上の成果に喜んでいます。

【 目標 ・ ねらい 】

- 販売農産物調理方法の紹介による販売増
- 食事提供による利用者拡大
- 食文化と通した住民交流の活性化

自己評価(事業実施率) 【 A 】

今後の取り組み

食堂開設時期が松茸シーズンと重なり、数年ぶりの松茸の豊作年となったことから、大変順調な滑り出しとなりました。これから販売品目の減少する季節を迎えますが、正月を挟み、地元の正月飾りや餅の販売と合わせ、雑煮やお汁粉など、寒いシーズンならではの食堂メニューを考え、通年営業できる体制づくりを進めていきたいと考えます。